

滑川市中教研 研究計画

会 長 東 城 浩 一

会員数 60名

1 本年度研究の基本方針

自ら考え主体的に判断し行動できる資質や能力と互いに認め合い励まし合う豊かな心を身に付け、たくましく生きる生徒の育成に努める。

- (1) 指導目標を明確にし、基礎的・基本的な内容が身に付くような指導過程の工夫・改善に努める。
- (2) 思考力・判断力・表現力等を育てるための教材とその提示の仕方を工夫し、学ぶ意欲を高める指導過程の改善に努める。
- (3) 真理を追究する喜びや、共に学び合う喜びが感得できる指導の工夫に努める。
- (4) 研究の成果を絶えず評価し、日常的教育実践に生かすと共に研究の継続と累積に努める。

2 部会構成と研究主題

番号	部会名	部員数	研 究 主 題
1	国 語	7	言葉に対して自覚的に思考・判断・表現する言語活動を通して、国語の能力を高めていくための指導はどうあればよいか。
2	社 会	7	社会的な見方・考え方を働かせ、社会的事象を主体的に追及する生徒を育てるためにはどのようにすればよいか。 －思考力・判断力・表現力等を育てるための教材開発や学習活動はどうあればよいか－
3	数 学	12	数学的に考える資質・能力を育成するために数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、深い学びを実現する指導はどうあればよいか。
4	理 科	7	理科の見方・考え方を働かせ、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成するにはどうすればよいか。
5	音 楽	3	幅広い音楽活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するにはどうすればよいか。 －育成を目指す資質・能力を明確にした学習指導と評価－
6	美 術	2	表現力及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための学習指導はどうあればよいか。 －美術科で育成することを目指す資質・能力の三つの柱の実現に向けて－
7	保健体育	8	心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって運動に親しみ、明るく豊かな生活を営む態度を育てる学習指導はどうあればよいか。
8	技術・家庭 [共有]	4	「いきてはたらく力」につながる技術・家庭科の教育の推進 －生活に生かすための問題解決的な学習の充実－
9	英 語	8	コミュニケーション能力の基礎を養うにはどのように指導したらよいか。 －聞くこと、話すこと、読むこと、書くことの言語活動を通して－
10	道 徳	7 (重複)	主として自分自身に関する道徳的諸価値についての理解を基に、自己をみつめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める道徳の授業はどうあればよいか。 －評価との一体化を意識した指導－
11	特別活動	5 (重複)	学級活動を通して身に付けるべき資質・能力を育成するための指導はどうあればよいか。

番号	部会名	部員数	研 究 主 題
12	特別支援 教 育	4 (重複)	特別な支援を必要とする生徒の個性や能力を伸ばし、自立と社会参加を推進する指導はどうあればよいか。 －生徒の教育的ニーズに応じた学習過程の工夫－
13	保 健	2	生涯にわたって主体的に心身の健康づくりに取り組み、健康で安全な生活を営む能力や実践的な態度を育てる健康教育はどのようにすればよいか。

3 年間計画の概要

月	曜	会 場	活 動 内 容
4 / 8	水	滑中	第1回理事会 第1回評議員会 (役員の選出・日程の確認、総会原案づくり、会則改定等) 中止…書面にて確認する
4 / 13	月	滑中	総会…平成31年度、令和元年度授業報告 決算報告 令和2年度事業計画・予算の決定等(中止のため資料を各教科部会で一読) 第1回研究部会 部会役員の選出、研究主題の決定 研究計画の作成 教科部長会…県外研究視察等について
5 / 26	火	滑中	第2回研究部会(教科+保健) (主題に基づく研修) 中新川合同
5 / 27	水	滑中	第2回研究部会(道・特・特支) (主題に基づく研修) 中新川合同
6 / 16	火	早中	第3回研究部会(教科+保健) (主題に基づく研修)
6 / 17	水	早中	第3回研究部会(道・特・特支) (主題に基づく研修)
10 / 1	木	滑中	第4回研究部会(教科+保健) (主題に基づく研修) (道・特・特支) (主題に基づく研修)
10 / 14	水	県中教研	研究大会(各会場)
10 / 20	火	県中教研	研究大会(道徳・特活・特別支援) 特活授業……滑川中学校
1 / 29	金	早中	研究大会(全体会、県外研修報告会、研究部会(まとめ))

4 留意事項

- (1) 会員の総意に基づき、自主的・民主的に運営を行う。
- (2) 協同的・実践的研修を推進する。
- (3) 授業実践を通して、会員相互の指導力向上に努める。